



アドレスV125用 オイルクーラー取り出しアダプター バージョンアップキット 取扱説明書

商品番号 : 09-07-0582
適応車種 : SUZUKI アドレスV125
フレーム番号: CF46A-100000~
: CF4EA-100000~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～特徴～

既存のアドレスV125用オイルクーラーキット(09-07-5001)をご使用の方が、当社製サーモユニットを装着する為のバージョンアップキットです。

本キット付属のアルミダイカスト製オイル取り出しアダプターは、新設計の構造により、サーモユニットの装着が可能になりました。

また、サーモユニットが不要の場合は、別売のオイルホールプラグを取付けて頂く事で、既存品(アルミ削りだしタイプのアダプター)と同様にサーモユニット無しでもご使用頂けます。

オイル取り出しアダプターには、別売の当社製M5温度センサーの取り付けが可能になっており、エンジン温度管理が出来ます。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

補修部品に付きましてはリペア品番にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

取り付け作業時に、エンジンオイルを追加する必要がありますので、作業前に同銘柄のエンジンオイルを別途ご用意下さい。

注意 この内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り適法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)

警告 この内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

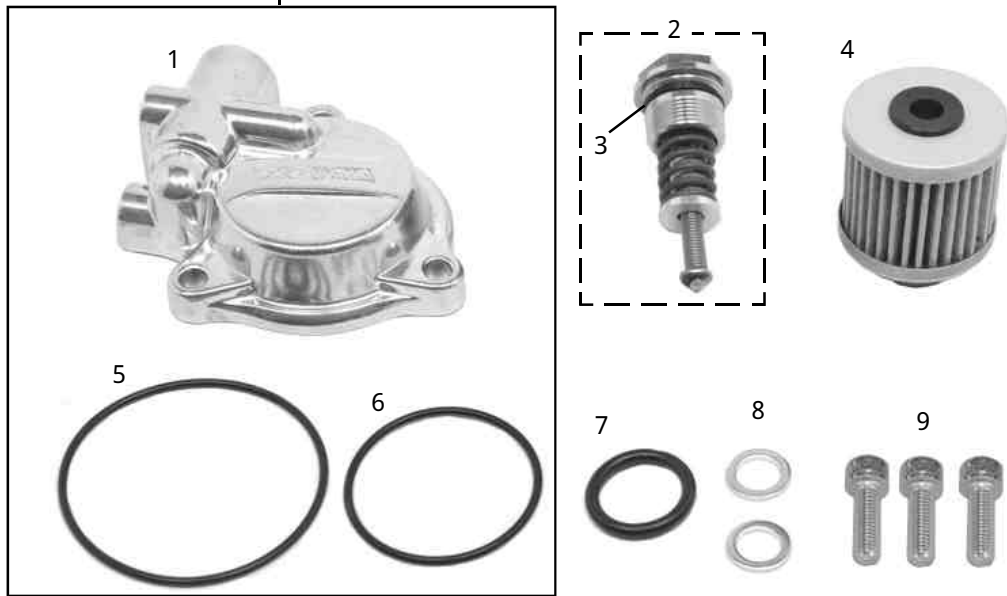
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

~商品内容~

00 07 0062



番号	部品名	数量	リペア品番	入数
1	オイルフィルターアダプター(ダイカスト製)	1		
2	サーモスタットComp.	1	02-01-5052	1
3	Oリング 15mm	1	00-00-0186	4
4	オイルフィルター	1	00-02-0027	1
5	Oリング 55mm	1	00-00-0095	2
6	Oリング 40mm	1	00-00-0094	2
7	Oリング 18mm	1	00-00-0093	2
8	アルミシーリングワッシャ 10mm	2	00-07-0010	10
9	ソケットキャップスクリュー 6X20	3	00-00-0043	10

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

~取り付け要領~

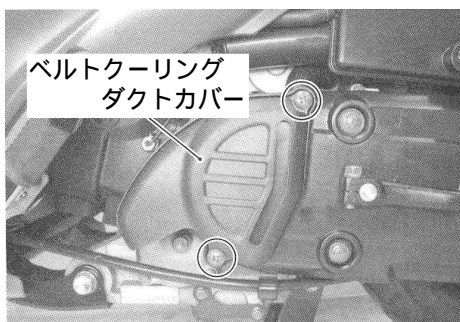
作業を始める前に

- 本キット取り付けにはオイルフィルターアダプターの交換作業が必要となりますが、作業開始前にオイルフィルターアダプター周辺を洗浄し、砂や汚れをしっかりと落とししてから分解作業を行って下さい。
⚠注意: オイルラインに砂や汚れが混入すると、エンジントラブルの原因となります。
- オイルフィルターアダプターの脱着作業に伴い、エンジンオイルがこぼれる場合があります。オイル受けや、ウエス等を準備し、作業スペースを養生した上で作業を行って下さい。
- 水平で安全な場所でセンタースタンドをかけ、車両を安定させます。
 不意に車両が前方へ動き、スタンドが外れたりしない様に、フロントブレーキレバーをタイラップやゴムバンドを用いて、しっかりと握った状態にしておくと、より安全です。

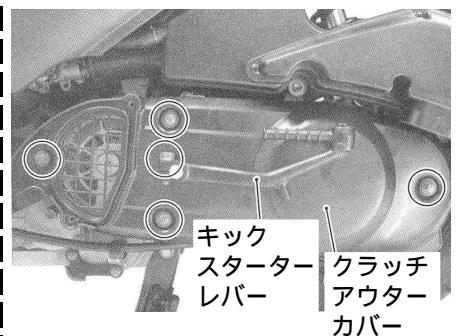
部品の取り外し

クラッチアウトカバーの取り外し

- タッピングビスを取り外し、ベルトクーリングダクトカバーを取り外します。



- キックスターレバーを取り外します。
 トルク: 13 N・m (1.3 kgf・m)
 クラッチアウトカバーを取り外し、クラッチアウトカバーを取り外します。
 トルク: 8 N・m (0.8 kgf・m)

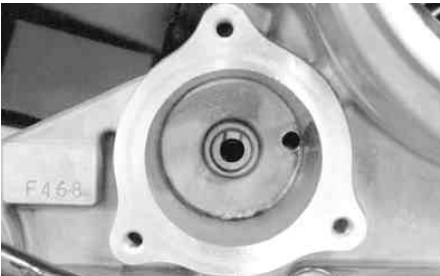


・オイルフィルターアダプターの取り外し

1. 既に取り付けられている、アルミ削り出しタイプのオイルフィルターアダプターに接続されているラバーホースのクランプバンドを緩めます。
2. オイルフィルターアダプターを固定しているスクリュー3本を取り外し、アダプター類一式を取り外します。
3. 取り外したオイルフィルターアダプターから、ストレートユニオンM10を取り外します。
また、パーティーションComp.とオイルフィルタースプリングも再使用しますので、取り外して清掃して下さい。

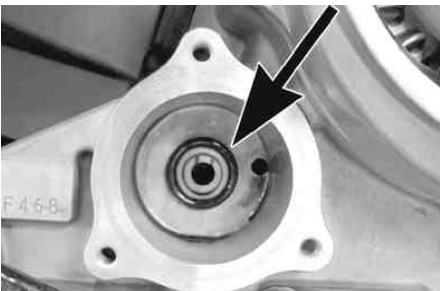
部品の取り付け

1. クランクケースのオイルフィルター部及び取り付け面を清掃します。
また、クランクケースの奥にOリングが残っていない事を確認して下さい。



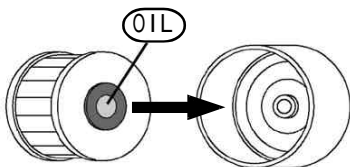
2. Oリング18mmにエンジンオイルを塗布し、クランクケース奥の突起部外周に取り付けます。

△注意：この時、純正のOリングがクランクケース奥に残っていない事を必ず確認して下さい。

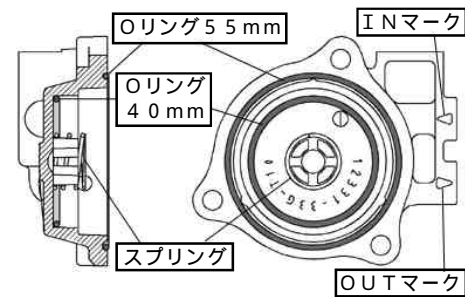


3. オイルフィルターのラバーパッキン部にエンジンオイルを塗布し、ラバーパッキン側からパーティーションComp.に差し込みます。

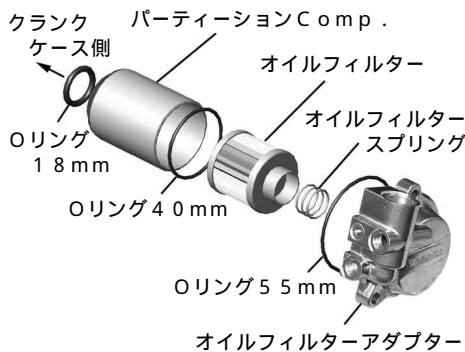
△注意：パーティーションComp.の片端は、差し込み部寸法を調整する為に外径切削加工をしています。パイプ寸法公差により外周が部分的に切削されていない物もあります。部分的に切削されていない物であっても不良品ではありませんので、問題なくお使い頂けます。また、外周の仕上げによる性能差も有りません。



4. オイルフィルターアダプターに、取り外しておいたオイルフィルタースプリングを取り付け、キット付属のOリング40mmと、Oリング55mmに薄くグリスを塗布して取付けます。Oリング55mmは溝からはみ出しやすいので、はみ出さない様に確実に取付けて下さい。



5. 下図の位置関係を参考にし、パーティーションComp.と、オイルフィルターアダプターをクランクケースに取り付け、キット付属のソケットキャップスクリュー6X20で仮止めします。
この時、Oリング及びオイルフィルタースプリングが脱落しないように注意し、パーティーションComp.がオイルフィルターアダプターに真っ直ぐ差し込まれるようにして下さい。

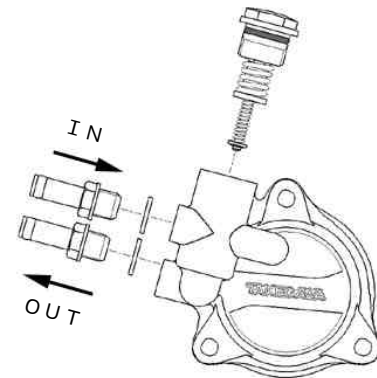


6. ソケットキャップスクリュー6X20 3本を締め付けます。

トルク：10N・m(1.0kgf・m)

7. キット付属のアルミシーリングワッシャ10mmに、先程取り外したストレートユニオンを通し、本キット付属のオイルフィルターアダプター(ダイカスト製)に取り付けます。

トルク：13N・m(1.3kgf・m)



△注意：アルミシーリングワッシャは取り外した物を再使用せず、キット付属の新品を使用して下さい。
オイル漏れの原因となります。

8. キット付属のサーモユニットのOリング部に少量のエンジンオイルを塗布し、オイルフィルターアダプターに取り付けます。
トルク：15N・m(1.5kgf・m)
9. ラバーホース2本をオイルフィルターアダプターのユニオンに接続し、クランプバンドを締め付けます。

10. クランクケース外側やオイルストレーナーキャップ周辺にこぼれ出たオイルを、パーツクリーナー等を用いて完全に洗浄しておきます。

△警告：オイルが残っていると、走行時にオイルがタイヤに付着するなどして、重大な事故につながる恐れがあります。

11. クラッチアウトカバー等、外した部品を元通り組み付けます。

最終確認

1. 必ず換気の良い場所で車両を水平に立て、エンジンを始動し、各部よりオイル漏れ等が無い点検を行って下さい。

△警告：密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

2. 2～3分間アイドリング運転後エンジンを停止し、2～3分後にセンタースタンドを収納した状態(水平・垂直)でオイル量が適正かどうか点検し、必要に応じて、オイルを追加して下さい。

(オイル量点検時レベルゲージは、差し込みだけでねじ込みません。)

3. 試運転をしてリアサスペンションを動作させて、ホースに無理がかかった形跡や、エンジン及びフレームとの干渉が無いか確認して下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357
FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857
URL http://www.takegawa.co.jp